

診療科
血液内科

疾患名
急性骨髄性白血病

レジメ名
大量Ara-C療法

投与間隔
1コース 4 週間 計 3 コース

商品名	一般名	略号	投与量	投与方法	投与時間	投与日					
						day1	day2	day3	day4	day5	day28
シタラビン	シタラビン	Ara-C	2g/m ²	点滴静注	3hr	●●	●●	●●	●●	●●	

備 考(実施手順、使用器具、予測される副作用とその対応、休薬・減量・中止基準、患者への注意事項等)

- ・day1-day5の各シタラビン投与前にグラニセトロン注3mg投与する
- ・Ara-Cによる発熱や発疹の対策として、各Ara-C投与前に副腎皮質ホルモン剤(ヒドロコルチゾン 100mg)の静注を考慮する
- ・抗生剤、抗真菌薬、ST合剤、抗ウイルス薬の予防投与を検討する

角膜・結膜障害の対策として副腎皮質ホルモン剤(フルメトンなど)を1日数回以上点眼する

- ・60才以上は1回投与量を1.5g/m²に減量することも考慮する
- ・638-1: 中心ルートレジメン 639-2: 末梢ルートレジメン

登録年月日
2025年9月3日

登録No.
No. 638